

赤十字かごしま ²⁰¹⁶夏号

赤十字基本原則：人道・公平・中立・独立・奉仕・単一・世界性

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

■発行所：日本赤十字社鹿児島県支部 〒890-0064 鹿児島市鴨池新町1番5号 TEL099(252)0600

熊本地震災害



お隣の熊本県では、4月14日、16日に震度7の大規模地震が発生し、その後も強い余震が続き、多くの方々が被災されました。
鹿児島県支部としては、4施設の職員が連携して、救援物資の輸送や医療救護班の派遣などの支援を行いました。

被災者に寄り添う看護師（益城町総合体育館避難所にて）

CONTENTS

- 1 平成28年熊本地震災害 鹿児島県支部の支援活動報告
- 2 「福祉フェスタinたにやま」に初参加！（特別養護老人ホーム錦江園）
- 3・4 平成27年度日本赤十字社鹿児島県支部 活動資金使途報告
- 5 お知らせ

**平成28年熊本地震災害
鹿児島県支部の支援活動報告**

4月14日夜に熊本県で発生した地震被害に対して、日赤鹿児島県支部では、日赤熊本県支部からの要請に基づき、救援物資（毛布1,000枚）を緊急輸送しました。

毛布を積んだトラックは、4月15日午前4時7分に出発し、6時50分に日赤熊本県支部へ到着し、その後毛布は各避難所の被災者の方々に届けられました。

また、気候変動に対応するため、要請に基づき6月15日にタオルケットを500枚輸送しました。

4月16日の本震後、医療救護班第1班が被災地へ出発。その後、6月2日までに救護班を計4班（計25名）派遣しました。

救護班は、益城町総合体育館や南阿蘇村の長陽中学校体育館などで、避難所における医療救援や巡回診療、医療ニーズの調査等を行いました。

また、日赤熊本県支部災害対策本部へ、本部運営の支援員を10名派遣しました。

日赤鹿児島県支部の支援活動内容の詳細については、下記の表をご覧ください。（平成28年6月15日時点）



(写真：毛布1,000枚をトラックへ積み込む様子)



(写真：4月16日5時17分、救護班第1班6名および連絡調整員1名が出発)



(写真：避難所体育館に設置された日赤のd E R U <仮設診療所>での診療の様子)

救援物資輸送					
活動期間	日数	要員数	備 考		
4月15日(金)～4月16日(土)	2日	2名	毛布 1,000枚	熊本県支部へ輸送	
6月15日(水)～6月15日(水)	1日	1名	タオルケット 500枚	"	
救 護 班					
4月16日(土)～4月18日(月)	3日	6名	救護所(益城町総合体育館)・宇城市アセスメント調査		
4月21日(木)～4月25日(月)	5日	7名	救護所(益城町総合体育館)・熊本赤十字病院支援		
4月27日(水)～4月30日(土)	4日	6名	救護所(空港ホテルエミナス・益城町総合体育館)		
5月18日(水)～5月21日(土)	4日	6名	救護所(南阿蘇中学校)		
災害対策本部要員					
4月16日(土)～4月19日(火)	4日	1名	日本赤十字社熊本県支部内		
4月20日(水)～4月23日(土)	4日	1名	"		
4月22日(金)～4月25日(月)	4日	1名	"		
4月26日(火)～4月29日(金)	4日	1名	"		
4月30日(土)～5月3日(火)	4日	1名	"		
5月8日(日)～5月11日(水)	4日	1名	"		
5月15日(日)～5月19日(木)	5日	1名	"		
5月31日(火)～6月2日(木)	3日	1名	"		
合 計	51日	36名	※要員数合計は延人数となります。		

**特別養護老人ホーム「福祉フェスタinたにやま」に初参加
錦江園**

錦江園は5月15日(日)東開町の鹿児島療院で行われた「福祉フェスタinたにやま」に参加しました。

このイベントは、「福祉」という言葉を「公共の福祉」という広い意味でとらえ、誰もが楽しみながら学べる企画をということで、多くの社会福祉施設や福祉機器の企業が参加しました。

初めて参加した錦江園は、鹿児島県支部と血液センターと協力して、東日本大震災や熊本地震での救護班などの活動状況のパネルを展示し、救護活動の説明を行うとともに、救護服やナース服の試着コーナーを開き、親子連れに記念撮影を楽しんでいただきました。

来場者からは非常持ち出し品や備蓄物などの質問が多くあり、災害の備えに対する関心が高まっていることを実感しました。

災害時の救護活動だけでなく、防災・減災に対する意識を高めていくことも、私たち日赤職員の使命であることを再確認するイベントとなりました。



○平成28年熊本地震災害義援金

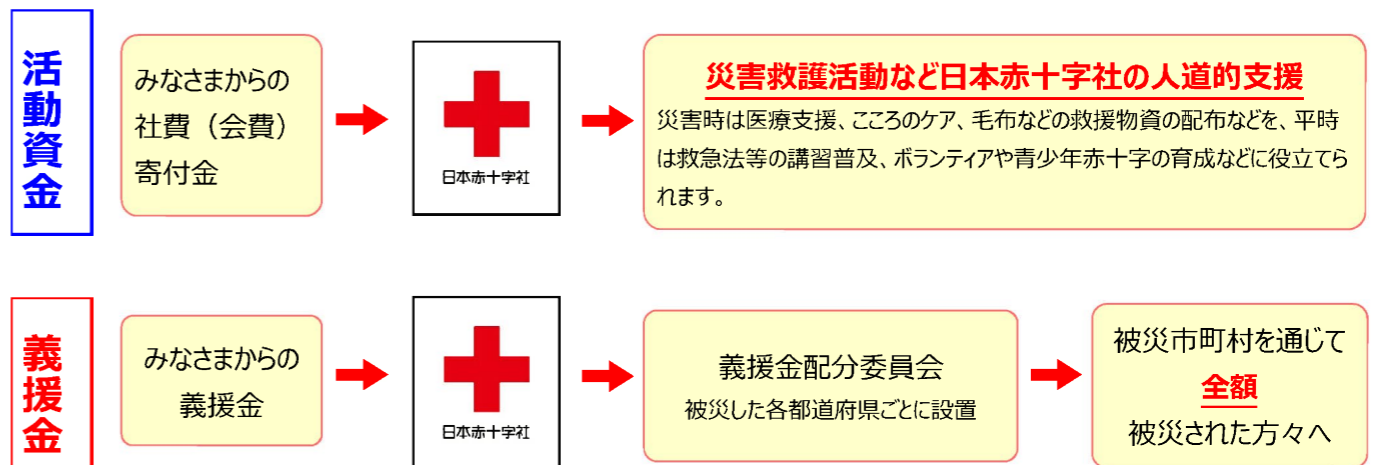
被災された方々を支援するために義援金を受け付けております。

義援金受付についての詳細は、日本赤十字社鹿児島県支部(TEL099-252-0600)までご連絡いただくか、またはホームページをご覧ください。国内での災害に対する義援金は**100%全額が被災された方々に届けられます。**

○活動資金と義援金の違い

日本赤十字社が行っている災害救護のための資機材及び要員の訓練、研修並びに救援物資(毛布/タオルケット/ブルーシートなど)にかかる費用については、日本赤十字社鹿児島県支部に直接寄せられる活動資金によって支えられています。また、義援金の受付、管理等にかかる費用もすべて、活動資金によって賄われています。

被災者に直接届く**義援金**。赤十字の活動を通じて被災者を救う**活動資金**。それぞれが大切な支援です。



皆さまから寄せられた活動資金（社資）は、 このように使われました。

15,360
個（枚）

<災害救護活動>

被災した方を救うために



平時から災害に備えるため、常備救護班8個班(48名)を編成し、県内外の訓練に参加しました。

また、県下に合計15,360個（枚）の毛布や緊急セットなどの災害救援物資を整備し、風水害や火事などの被災者にお届けしました。

(写真：屋久島町口永良部島新岳噴火災害時の救護班による健康相談の様子)

災害救護活動のために

2,017万円 (5.0%)

被災地のために（義援金）

5,600万円 (13.9%)

将来の災害への備えと翌年度の活動のために（繰越金を含む）

7,596万円 (18.9%)

赤十字運動の運営と設備整備等のために

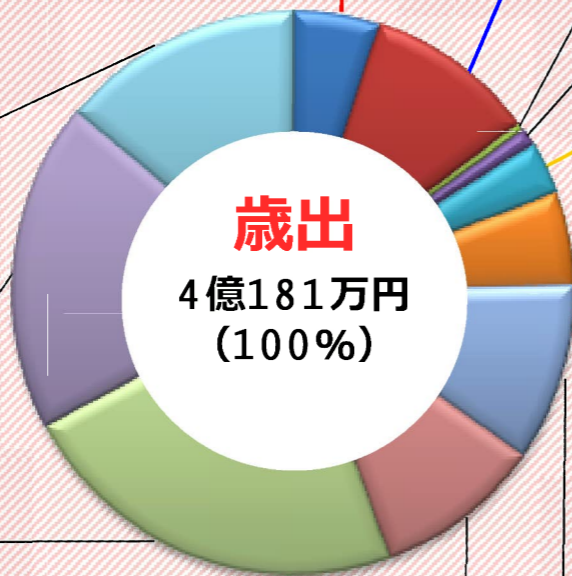
9,158万円 (22.8%)

赤十字思想普及のために

3,846万円 (9.6%)

市町村における赤十字活動のために

4,088万円 (10.2%)



(平成27年度一般会計決算より)

国際救援活動のために （本社における赤十字活動を含む）

3,936万円 (9.8%)

医療・献血・ 社会福祉のために

192万円 (0.5%)

救護看護師養成のために

398万円 (1.0%)

救急法等の普及のために

1,190万円 (2.9%)

赤十字奉仕団・ 青少年赤十字育成のために

2,160万円 (5.4%)

190
の国と地域

<国際活動>

世界で紛争や災害で苦しんでいる人を救うために



災害や紛争、病気などに苦しむ人々を救うため、世界190の国と地域に広がるネットワークを活かして、緊急時の救援や復興支援、予防活動に取り組みました。

(写真：2015年ネパール地震被災地における日赤の活動の様子)

20,577人

<救急法等の講習>

人間のいのちと健康を守るために



とっさの手当てや日常生活での事故防止など、健康安全に関する知識・技術の普及と啓発を行いました。昨年度は県内で20,577名の方が受講しました。

(写真：講習会の様子)

69回

<赤十字ボランティア>

社会貢献をするために



災害時の被災者支援や地域での福祉活動など、県内に69ある赤十字奉仕団のボランティア活動の促進を図りました。

(写真：地域奉仕団による炊き出し研修の様子)

482校

<青少年赤十字（JRC：Junior Red Cross）>

「命の大切さ」を学び、「思いやりの心」を育てるために



482校（園）の児童・生徒たちが実践活動を通じて、自ら「気づき、考え、実行」できる学びの機会を提供しました。

(写真：研修の様子)

お知らせ



海やプールなどで子どもの命を守る！

親子で体験！海の安全教室



水の事故から身を守る知識や技術を親子で楽しく学べます。
夏休みの自由研究にもお勧めです。

開催日：8月7日（日） 10：00～14：00

場所：レインボービーチ（鹿児島市桜島横山町）

対象・定員：県内の小学生および参加できる保護者
各30組60名（先着）

※可能な限り保護者の方も一緒に海にお入りください。

参加費：無料

申込期間：7月1日（金）～7月29日（金）



心肺蘇生やAEDの使い方を学ぼう！

ワールド・ファースト・エイド・デイ 2016

毎年9月の第2土曜日を中心に、世界各国の赤十字で実施されるイベント！

心肺蘇生やAEDの使い方を気軽に学べます。
ぜひご家族やお友達と一緒にお願いします。



開催日：9月4日（日） 10：00～17：00

場所：オプシアミスマ鹿児島 1階中央イベント広場

参加費：無料

献血施設の開所日変更について

県内の献血施設は

平成28年7月1日（金）から開所日を変更します。

献血プラザかもしけクロス 月・火・水・金・土・日・祝（木曜休み）

献血ルーム・天文館 月・火・水・木・土・日・祝（金曜休み）

※平日にお休みを設けることになりましたので、ご注意ください。

献血についてのお問い合わせは、

鹿児島県赤十字血液センター（TEL 099-257-3141）まで



 **日本赤十字社** 鹿児島県支部
Japanese Red Cross Society

☎099(252)0600

URL : <http://www.kagoshima.jrc.or.jp> E-mail : shbu-rc@po.minc.ne.jp

日赤鹿児島県支部

検索

